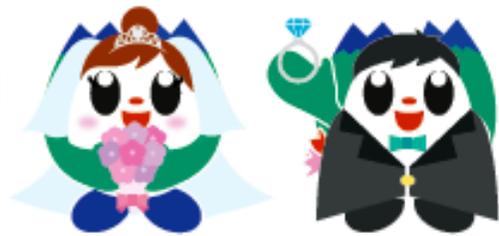


# 結婚支援を通じた報告



飯島町 元地域おこし協力隊

木村彩香

# 自己紹介

木村彩香（きむら あやか）  
神奈川県 二宮町出身

## 《職歴》

洋服の販売員 2年間

専門学校勤務（販売員の育成、就職支援、高校授業...等） 3年間

美容関係の電話・ネット通販 1年半

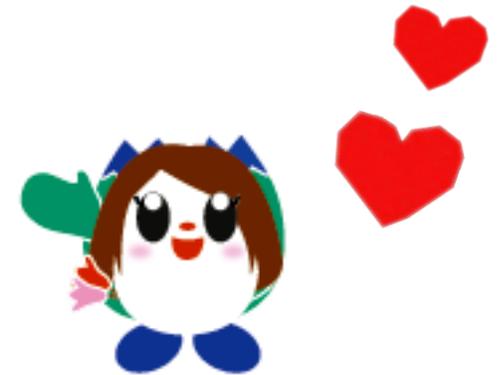
美容関係の全国営業 1年半

副業 飲食店店員 2年

イベント手伝い企画運営

## 《現在》

飯島町 地域おこし協力隊 結婚による定住促進 出会い創出事業担当。  
“移住系女子。”として、活動中。（若い女性の地方移住を応援）



## 《インターネットサイト》

- ココロココ 2015年2月 「大都会東京から、大自然の飯島町へ 自ら地域に飛び込み発信する 木村彩香さんの取り組みとは」
- ココロココ 2015年8月 「移住女子の休日に密着！理想の移住スポット”飯島町”の魅力とは」
- JOIN 地域おこし協力隊に直撃インタビュー
- 結婚したら二宮に住もう！ 応援メッセージ

## 《テレビ》

- テレビ朝日系列 **イチから住** 2016年7月～3か月間 タレント福井仁美の飯島町の親友として
- abn長野朝日放送
- フジテレビ系列とくダネ

## 《ラジオ》

### ●FM長野

- SBCラジオ 伊那谷めぐりあい
- 飯田エフエム iステーション

## 《講演》

- **跡見学園女子大学** 2016年1月12日 「地方で働く」とは
- JOIN 地域おこし協力隊全国合同説明会 2016年1月17日 「福井仁美と木村彩香の移住系女子」トークショー
- ふるさと回帰支援センター 2016年2月13日 「移住系女子。」木村彩香体験談

- **長野県婦人教育推進協議会** 2016年9月17日

- **都市・農村共生社会創造シンポジウムin信州** パネルディスカッション パネリスト 2016年9月28日

- 都市・農村共生社会創造シンポジウムin東京 事例報告・パネルディスカッション 2017年2月25日

## 《研修》

- 長野県地域おこし協力隊初任者研修 事例発表パネリスト 2015年5月 他、毎日新聞、中日新聞、信濃毎日新聞、長野日報、月刊かみいな…など



# 日々の活動

《結婚による定住促進を目指して...ミッションは“出会いの場の創出”》

## ● 出会いイベント企画運営

- 地域イベント企画運営
- 結婚相談所との連携、他市町村との連携
- 定住促進室との連携
- 移住希望者案内
- SNS発信(“移住系女子。”FBページ、地域おこし協力隊FBページ、twitter)、専用ホームページの開設
- 結婚相談業務、お見合い
- 都内営業
- 婚活冊子制作
- 新しい観光名所づくり
- 町の図書館にて婚活専用コーナーの設置と本の紹介
- 移住セミナー同行
- スキルアップセミナー講師

※兼業で町のBARで働いていました！



# 活動の成果として・・・

平成26年 4月～

成婚カップル8組誕生(9組、10組目の報告もあり)

婚活イベント(平成26年4月～)

合計39回

総参加人数 645人

カップル成立数 53組

県外女性の“飯島町ファン”も増えました！



# 目に見えない成果

“婚活”という言葉の定着。  
従来...婚活＝地味、恥ずかしい  
現在...婚活＝明るい、楽しい

★  
★ **明るい婚活** ★  
★

婚活という言葉ではなく...



# 今後の展望...

- ①移住したい女性の受け入れ体制の強化。
  - ・女性限定 田舎暮らしシェアハウス
- ②女性コミュニティの強化。
- ③都心との繋がりを活かす。
- ④結婚支援事業でのLLP化。



# 結婚支援のサポート、はじめます。

- イチから婚活プロデュースプログラム
  - 地域の婚活支援を総合カウンセリング
  - 地域と都市圏を繋げる婚活戦略
- 婚活イベントサポートプログラム
  - 県外から女性を連れてくるイベント
  - 地域資源を活かすイベント



心理カウンセラー 橋本真利

# 私が思うこと

地域を残す(お祭り、文化、地域産業)ために、ひとが必要。

- 子供が少ない
- 若い女性が少ない
- 若い頃に地元を出ていき、帰ってこない
- 40歳代以上の独身者が多い
- 結婚相談所に登録しているのは、男性が圧倒的に多い
- 結婚を意識し始める年齢が低い

そのためには...

出会うの場の提供と地域の受け入れ。  
未婚者の意識の改革。

- ・都市部からお嫁さん(お婿さん)を呼ぶ
- ・独身者の結婚に対する意識を変えること
- ・地域に出会いの場があること
- ・地域にお嫁(お婿)に来てからのサポートがあること



コイ コイ

# 事例1:『イイジマに恋来プロジェクト』

## 【活動の目的】

- ・未婚化が進む飯島町での成婚率をあげる
- ・出会いの場の提供
- ・町民(若者)が主体となった町づくりをする
- ・地元を好きになってもらう(Uターンの強化)
- ・コミュニケーションを学ぶ
- ・町を学ぶ

→町民が主体となり、町づくりを考える。

町内の若者(未婚者)が協力し合い、自ら自分自身の“結婚”のために動く動機づくりをする。チームでつくる“婚活”、“まち”づくり。



イイジマに恋して  
イイジマに来てね!

## 事例2：お嫁に来てからのサポート！

料理教室を定期的に行う。講師は町のお母さん。

飯島町のお母さんから、地域の味や家庭の味を学びます。



地域を残すために

今あるもの（ひと）を磨くこと。

# 長野県に磨かれました！

長野県の人口と一緒に増やしましょう。

ご清聴ありがとうございました！

